吉野作造記念館だより

2018（平成30）年度事業報告（2018.4～2019.3）〈編集・発行〉特定非営利活動法人 古川学人

「吉野作造かるた」であそぼう!

吉野作造について楽しく学んでもらえる「吉野作造かるた」を制作しました。絵札は大崎市内の中学・高校の生徒の皆さんに協力してもらい、個性豊かな楽しいかるたになりました。大崎市内の小・中学校、児童館等に配布されているほか、当館ウェブサイトからダウンロード・自作してお楽しみいただくこともできます。

- 絵札制作協力校
  古川東中学校　古川南中学校　古川北中学校
  古川学園中学校　古川学園高校
- 箱デザイン　菅原暢子（当館職員）
- 企画・読み札・制作　特定非営利活動法人　古川学人

今年も吉野作造検定で腕試し

吉野作造生誕記念イベントに合わせ開催された第２回吉野作造検定。今回から入門に加え、より難易度の高い中級検定が新たにスタート。皆さん真剣な表情で試験に臨んでいました。

合格者　入門：9／10名　中級：3／3名

目　次

吉野作造かるた・吉野作造検定……1
2018年度企画展……2
2018年度吉野作造市民大学……4
人材育成研修会／高校生デモクラシー塾……6
小中学校巡回パネル展ほか……7
大崎市内小中学校への教育普及……8
その他講座・講演会など……9
市民交流事業……10
2018年度 NPO 法人古川学人事業一覧……11
シティズンシップ普及事業……12
被災地支援事業……14
キッズ教育支援事業……15
ヤングジャパン応援／健康増進事業……16
東アジア交流事業／まちカル事業……18
2018年度行事・寄贈一覧……19
2018年度入館者数・売上ほか……20
アンケート……22
2019年度の行事予定……23
おおさき社会貢献大賞……24

2018年度
前期企画展

働く人の権利を求めて

2018年5月27日～8月5日

共　催　友愛労働歴史館
後　援　大崎市　大崎市教育委員会
来場者数　1，469名

日本労働運動の草分けである友愛会（のち日本労働総同盟）の創設者・鈴木文治と、その盟友・松岡駒吉にスポットを当てた企画展です。

栗原市金成歴史民俗資料館（宮城県栗原市）所蔵の鈴木文治関連資料の他、友愛労働歴史館（東京都港区）所蔵の、書簡・遺稿などを含む松岡駒吉旧蔵資料を多数展示しました。

本企画展で展示した松岡駒吉関連資料は、多くが初公開の資料であり、今後の研究が待たれます。

賀川豊彦などの書簡、松岡駒吉の衆議院議長時代の資料などを初公開。

現存する数少ない友愛会当時の会旗。
図案は鈴木文治自身の手によります。

前期企画展記念講演

現代の労働問題と日本社会―ブラック企業問題とは何か

講師：今野晴貴氏
2018年6月30日

企画展「働く人の権利を求めて」に合わせ、若者の労働・貧困問題に取り組むNPO法人POSSE代表・今野晴貴氏の講演会を開催しました。「ブラック企業」とは、長時間労働、サービス残業など労働者の権利を無視し、若者を使いつぶす企業を指します。現代の労働問題を象徴するブラック企業問題の実態とその背景、社会的弊害について語られました。

アンケートでは「現代の労働問題について認識を新たにした」「現代の若者として当事者意識をもつことが大切だと思った」などのご感想を頂きました。

来場者数：34名

学芸部 調査報告

2018年2月～6月
企画展「働く人の権利を求めて」のため、2018年2月および5月の2回、友愛労働歴史館で資料調査。多くの未確認・未展示資料のうち許可を得て約30点を借用・撮影。上記企画展にて展示。

2018年6月
石巻市教育委員会所蔵の布施辰治関連資料を調査。

2018年7月
東京都の吉野作造ご遺族を訪問・資料調査。

2018年度 後期企画展

時代をつくった女性たち
～大正女性の豊かな生き方～

2019年1月6日～3月24日

後援　公益財団法人市川房枝記念会
女性と政治センター
大崎市　大崎市教育委員会

来場者数　2、038名

大正デモクラシーの時代、さまざまな分野で女性の社会進出の道を拓いた人々を紹介する企画展です。

日本の女性参政権実現に尽力した市川房枝、日本女子体育大学の創立者であり、日本の女子スポーツ隆盛の礎を築いた二階堂トクヨ（大崎市三本木出身）などにスポットを当てたほか、大崎地域に残る明治～大正期の貴重な資料も多数展示しました。

吉野作造も女性の政治参加を期待し、市川房枝を支援していました。

二階堂トクヨは、体育を通し教養ある自立した女性の育成を目指しました。

後期企画展記念講演
これからのシアワセな生き方

共催：エブリー♪おおさき

2019年3月2日

新しい時代の「豊かな生き方」とは何かをテーマにしたフォーラム。第1部では武蔵大学名誉教授の国広陽子氏により「女性たちへの応援歌～先輩に学ぶ勇気と元気」と題した講演が行われ、日本女性のライフサイクルの変遷や、市川房枝ら先人に学ぶこれからの豊かな生き方の展望についてお話いただきました。

第2部では会場を講座室に移し、地域情報サイト「エブリー♪おおさき」の鉄本由美氏の進行による座談会が行われ、お茶を囲みながら世代を越えた自由闊達な議論を行いました。

当日はお子様連れの来館に配慮し、NPO法人ハッピィート大崎の協力で託児コーナーを用意しました。

来場者数：59名

2018年11月～2019年3月
栗原市金成歴史民俗資料館の未展示資料55点を借用・整理・撮影。

2018年11月
加美町の個人蔵資料を調査。明治後期の高等女学校資料、軍事郵便など多数。

2018年12月
東京大学近代日本法政史料センターにて、法学者中田薫の未発表遺稿を調査。吉野作造に関する回想を確認。

2019年3月
国文学研究資料館所蔵「守屋栄夫文書」を調査。

2018(平成30)年度
2018.04～2019.03

吉野作造市民大学講座

吉野作造記念館友の会会員向けサービス「吉野作造市民大学」は、所定の講座・講演会に参加して単位を取得し、進級・卒業を目指すものです。進級・卒業者には修了証・卒業証書が授与されます。

吉野作造記念館友の会にはその他多くの特典があります。お申し込みをお待ちしています。

No.	単位	内　容	開講日	講師
1	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」①	4月12日 4月15日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
2	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」②	4月19日 4月22日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
3	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」③	5月10日 5月13日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
4	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」④	5月17日 5月20日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
5	1	憲法記念日講演会「立憲主義と吉野作造」	5月3日	平地　秀哉 氏（國學院大學法学部 教授）
6	1	【歴史講座】岩出山時代の伊達政宗	6月23日	佐藤　憲一 氏（仙台市博物館　元館長）
7	1	前期企画展記念講演会 「現代の労働問題と日本社会―ブラック企業問題とは何か」	6月30日	今野　晴貴　氏　（ＮＰＯ法人ＰＯＳＳＥ 代表）
8	1	人材育成研修会　基調講演 「清末知識人と明治日本―兆民・蘇峰から梁啓超へ」	9月7日	朱　琳 氏（東北大学大学院国際文化研究科 准教授）
9	1	人材育成研修会　成果報告会	9月9日	
10	1	読売・吉野作造賞受賞記念講演会※中止	11月24日	
11	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」①	12月6日 12月9日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
12	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」②	1月10日 1月13日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
13	1	【吉野作造講座】「吉野作造の文章を読んでみよう」③	2月7日 2月10日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
14	1	吉野作造入門講座	1月6日 1月20日	小嶋　翔（吉野作造記念館　研究員）
15	1	生誕記念講演会 「よみがえる吉野作造精神～社会貢献活動へのいざない」	1月27日	氏家　仁（吉野作造記念館　館長）
16	1	【吉野作造講座】 「吉野作造と本郷教会での自由恋愛論」	2月23日	後藤　彰信 氏（元宮城県高等学校社会科 教諭）
17	1	後期企画展記念講演会 「女性たちへの応援歌～先輩に学ぶ勇気と元気」	3月2日	国広　陽子 氏　（武蔵大学名誉教授）
18	1	【吉野作造講座】 「大正・昭和前期の宮城の社会運動と吉野作造」	3月9日	後藤　彰信 氏（元宮城県高等学校社会科 教諭）

平成30年度開催講座合計：18講座

- 企画展記念講演会　２講座
- 吉野作造講座等　11講座
- 憲法記念日講演会　１講座
- 歴史講座　１講座
- 人材育成研修会　２講座
- 中止　１講座

2018年度入学者：34名（進級：16名）

○2019年度の『吉野作造記念館友の会』会員募集中！

- **入門コース（1,000円）**
  特典：常設展企画展見学（年1回）、講座・講演会聴講（年1回）、行事案内送付
- **学士コース（3,000円）**
  特典：常設展企画展見学、講座・講演会聴講、行事案内送付
- **博士コース（5,000円）**
  特典：3000円コースの特典＋記念館グッズ20%割引、雑誌『吉野作造研究』送付

お申し込み・お問い合わせ

吉野作造記念館　TEL 0229-23-7100　FAX 0229-23-4979　Mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp

吉野作造講座
「吉野作造の文章を読んでみよう」

講師：氏家　仁館長
前期：４月12日～（全４回）
後期：12月６日～（全３回）
参加無料

読みやすい文体・内容の吉野作造著作を原著で読む連続講座です。2018年度は同一内容で平日・休日の２回ずつ開講しました。

参加者数：計63名（前期）　計45名（後期）

憲法記念日講演会
「立憲主義と吉野作造」

講師：平地秀哉氏
５月３日

「憲法」をテーマにした講演会。第２回となる今年は國學院大學の平地秀哉先生にお話を頂きました。

参加者数：66名

歴史講座
「岩出山時代の伊達政宗」

講師：佐藤憲一氏
６月23日

伊達政宗が米沢城から現大崎市の岩出山城に移った、豊臣秀吉政権下の１０年余りの時期にスポットを当てた内容でした。

参加者数：46名

「吉野作造入門講座」

講師：小嶋　翔研究員
１月６日・20日
参加無料

吉野作造の業績や人物像などの基本を解説する入門講座。

「吉野作造検定」入門編対策として、記念館と大崎市図書館の２会場で開催しました。

参加者数：計11名

吉野作造講座
「吉野作造と本郷教会での自由恋愛論」
「大正・昭和前期の宮城の社会運動と吉野作造」

講師：後藤彰信氏
２月23日・３月９日

2018年度吉野作造市民大学の最終講座。１回目は自由恋愛論争から見る当時の若者の国家観・社会観について、第２回は宮城県の社会運動について多くの資料を交えてお話いただきました。

参加者数：計42名

※参加者数は一般参加者も含みます。

第12回吉野ネットワーク
人材育成研修会
2018年9月7日～9日

朱琳氏講演（9月7日）

吉野作造を通じた全国的なネットワークの構築を目指し始まった人材育成研修会。

第12回となった2018年は東京大学、東北大学、慶應義塾大学、新潟大学、同志社大学、駒澤大学、京都大学から計23名の学生が参加しました。

日中平和友好条約から40年ということで「日中関係」を全体テーマとした今回。初日7日の基調講演は朱琳氏（東北大学准教授）による「清末知識人と明治日本―兆民・蘇峰から梁啓超へ」でした（一般公開）。

場所を加美町の中新田研修センターに移した8日は、武藤秀太郎氏（新潟大学准教授）による「五四運動と日本」、手嶋泰伸氏（福井工業高等専門学校講師）による「日中戦争における戦争拡大の構図」の講義、最終9日は記念館にて成果報告会（一般公開）を行いました。

また研修会に合わせ、当館所蔵の中国関連資料を展示しました。

一般公開来場者数　計91名

自分の進路と未来を考える
高校生デモクラシー塾
2017年開塾 第一期

人材育成研修会2日目、大学生たちと一緒に受講（9月8日）

成果報告会（9月9日）

2017年度より始まった「高校生デモクラシー塾」。一期生の岩佐遥介さん（古川黎明高等学校）は、「自らの政治的関心・素養を高め、それを他の高校生と共有し「意欲を持った主権者」を目指すこと」を目標に、吉野作造記念館で多くの講座・講演会に参加し、2018年9月8日、修了式を迎えました。2019年1月には「高校生デモクラシー塾」の取り組みで、第1回おおさき社会貢献大賞の優秀賞を獲得しました。

高校生の主権者教育（シティズンシップ教育）の重要性が高まっていることから、吉野作造記念館では「高校生デモクラシー塾」を開始しました。「政治参加」「地域と教育」「社会福祉」「震災復興」「歴史」「国際関係」など、記念館で開催される多様なテーマの講演会・講座を学習に活用し、政治や社会への関心を深めることを目指します。大学のような専門的学問に触れることで、将来の進路を考える機会にもなります。

入塾は随時受付、途中入塾も歓迎します。どうぞお気軽にお問い合わせください。

吉野作造かるた原画展

2019年1月27日～2月6日
来場者数：119名

吉野作造生誕記念イベントでの「吉野作造かるた」お披露目と合わせ、大崎市内の中学校・高等学校のみなさんによるかるた原画44点と、当館職員によるパッケージ原画の展示会を行いました。

2月7日以降は、「かるたで学ぼう吉野作造」として、引き続きかるたを紹介する展示を行っています。

れ　列車に乗っていざ仙台へ　町の期待を一身に

や　優しく人生教えてくれた　バイブルクラスのブゼル先生

ま　まだ珍しかった恋愛結婚　相手の女性はたまの夫人

み　民本主義こそ政治の基本　民衆のために 民意によって

小・中学校巡回パネル展

2018年11月～

古川第一小学校での展示

古川黎明中学校での展示

吉野作造記念館では、「みやぎの志教育」を応援するため、吉野作造の業績やエピソードを紹介するパネル展「わたしたちの先輩・吉野作造」を、大崎市内の小・中学校で開催しています。

パネルは小学校向け・中学校向けの2種類あり、各10枚ほどです。1枚1テーマとなっており、順番どおり全部を通して見るほか、小学校時代、高校時代、海外留学など好きなものから見られるようになっています。また、各エピソードに当時の吉野の年齢を付記し、生徒さんが自分と重ね合わせて将来をイメージしてもらえるようにしました。

2018年11月7日から古川第一小学校と古川中学校に展示、2019年2月15日からは古川黎明中学校に展示しました。

パネルの貸出、展示をご希望の際は吉野作造記念館までお問い合わせください。

大崎地域高校紹介コーナー

2018年7月25日～11月30日

中学生の進路選択に役立ててもらい、また地域の方々に高等学校の取り組みを知ってもらうため、大崎地域の各高等学校に学校生活やさまざまな取り組みをPRしてもらう「高校紹介コーナー」を設置しました。

大崎市内小中学校への教育普及

古川中学校開校記念講話

2018年4月18日

大崎市立古川中学校で、今年も同校の3年生に開校記念講話を行いました。氏家館長が吉野作造のデモクラシー論を紹介しながら、社会に対して貢献することや志をもって将来を展望していくことの大切さを伝えました。

参加者数：201名

職場体験実習

今年は、大崎市立古川中学校2年生3名（7月3日～5日）、大崎市立古川第三小学校6年生4名（11月1日）、宮城県古川黎明中学校2年生2名（11月9日）の皆さんが当館に実習に来ました。

仕事の基本であるあいさつに始まり、吉野作造記念館がどういった施設なのかについての講義、受付や学芸員の業務の実習を行いました。

職場体験実習の感想

古川中　北谷香菜子さん

私が印象に残っていることがいくつかあるのですが、ここでは二つ紹介させて頂きます。一つ目は、総務部の方がおっしゃっていた、お客さんによって話し方や話す内容を変える、ということです。博物館や記念館といった施設は、お客さんが来て下さるから運営することができます。お客さんはどのようにされたら気持ちが良いのかを考えることが大切だと思いました。二つ目は、学芸研究部の方がおっしゃっていた、使ったものを元に戻すことが出来ない人は、学芸員には向いていない、ということです。私は学校生活では出来ていますが自宅では出来ていない部分があるので、直すように心がけたいと思います。

古川中　鐵本羅夢さん

受付をする時のスムーズな対応、お客さんが聞き取りやすい話し方など、学芸研究部さんの展示物に対する扱いのよさ、お客さんに一つ一つの展示物を分かりやすく説明している姿がとてもすごいと思いました。

私は、職場につくのは簡単なことだと思っていたのですが、今回の職場体験で仕事に勤めるためには職場にあった資格が必要だと深く考えることができました。

古川中　佐々木創さん

実際に仕事を行ってみて、学芸員の仕事は楽しくやはり自分は学芸員になりたいと思いました。今回の職場体験実習で、私は仕事ということについて、自分のためや、家族のため、お客様のために働くことについて深く考えることができました。

古川第三小　濱野峰渡くん

パンフレットを配っている時「ありがとう」や「がんばって」など応援の言葉がもらえました。接し方によっては、お互いより幸せになれることを学びました。今後はより温かく人と話して、仲良くなろうと思います。また吉野作造の人生や、その仲間との関係についても知ることができたので、とても良い職場体験になったと思いました。

古川第三小　野田泰生くん

受付の仕方や、イベントの広報を分ける作業のやり方などていねいに教えてくれました。また展示室を見るときにもていねいに説明してくれたり、僕たちを笑わせてくれてすごく感謝しています。吉野作造のことがよく分かりました。

古川第三小 小野寺快人くん

一番ぼくがびっくりしたのは展示してある物が記念館にある物の一部だということ

と、展示物の保管方法です。そして初めて朝礼のことを知って、記念館の仕事は一日中大変だということが分かりました。そしてパンフレットの渡し方なども教わってこの接客はどの仕事にも必要だと思うので、覚えておきたいと思います。

古川第三小 山口亮輔くん

お客さんの前であいさつをしたりパンフレットを渡したりするのは少し緊張しました。でもお客さんにありがとうと言われ、失敗せずにできたのでうれしかったです。

古川黎明中 木村未来さん

今回の体験を通して、お仕事の大変さを実感しました。資料を守り、歴史を伝えていくことと、記念館の経営を両立されていて、とても素晴らしいと思います。何事にも努力することは、どんな職業も共通して大切なことだと考えます。また、イベントなどを開催し、お客さんに楽しんでもらうことも大切だと思いました。進路を決めていく上で、大変勉強になりました。

古川黎明中 伊藤悠さん

「お客さんをワクワクさせる記念館」。吉野作造記念館は、まさにそんな記念館だと感じました。

開館前の清掃から始まり、お客さんへの対応やあいさつ、展示品の紹介文まで、その一つひとつに心がこもっていました。従業員さんはいつでも笑顔。それでいて真剣なまなざしで「仕事」と向き合い、探求心を忘れない姿は、とても輝いていました。

今回の職場体験で、いつも「子どもの世界」に閉じこもっていて見られなかった、「仕事の大変さ」、「仕事の奥深さ」、そして、「大人のカッコよさ」を見ることができました。

その他講座・講演会

中国山東大学・東北大学 日本学研究フォーラム

2018年9月14日～16日

中国山東省の山東大学で開かれたフォーラムに当館の小嶋翔研究員が参加し、「1920年・中日大学生交流事業の思想文脈」というテーマで発表。1920年に吉野作造と李大釗が企画・実施した「北京大学遊日学生団」の再評価を試みる内容でした。

吉野作造を学ぶ会主催 特別講演会

2018年10月20日
来場者：30名

大崎市古川の「吉野作造を学ぶ会」主催の講演会。講師は吉野作造講義録（服部英太郎筆記、当館蔵）を翻刻した「吉野作造『政治史』講義録仙台翻刻の会」の永澤汪恭氏でした。

明星研究会シンポジウム

2018年11月24日
会場：日比谷コンベンションホール
来場者：90名

栗原市築館地区コミュニティ推進協議会講演会

2019年2月24日
会場：栗原市ふるさとセンター
来場者：90名

檻の中のライオンin古川

2019年3月7日
来場者：98名

憲法の役割をやさしく解説した絵本『檻の中のライオン』の著者で弁護士の椋大樹氏による講演会を、檻の中のライオンin古川実行委員会主催、当館協力により開催しました。

市民交流事業

2018年５月４日 GWイベント

ステージでは古川高校合唱部の皆さんによるコンサート、寸劇、読み聞かせ、工作コーナーではランチバッグ作り、こいのぼり・かぶとのカード作りが行われました。記念館前広場はチョークアートイベントで賑わいました。

ＮＰＯ法人シナプス40によるプログラミングの体験会や書籍・ＣＤの交換会、大崎市内の大学生らでつくる「未来クエスト×スクエア」による昔の古川の写真を集めるイベントもありました。

また、ＮＰＯ法人ハッピィート大崎とＮＰＯ法人古川学人の共催で、子ども食堂の体験イベント「はじめての子ども食堂」を開催しました。

来場者数：５３６名

古川高校合唱部のコンサート

パタ崎さんとプログラミング体験

自分だけのランチバックづくり

はじめての子ども食堂

寸劇「マコロン、給食が食べたい」

2018年12月16日 クリスマス会

魔法使いじゃがりこ☆マジックショー

サンタさんがプレゼントをもってお出迎え!

サークルカリヨンのハンドベルコンサート

みんなでつくってたべよう

ステージではクリスマス気分を盛り上げるコンサートやマジックショーを楽しんでいただきました。オーナメント工作や、ハッピィート大崎による簡単ピザを作るコーナーでは子供たちの嬉しそうな笑顔が見られました。来場者数：567名

2018年10月21日 おおさき古川秋まつり

おおさき古川秋まつりに、吉野作造夫妻に扮した当館職員が登場、名刺を配るなどして市民と交流しました。写真を撮影しＳＮＳに投稿した方には、特製缶バッジやストラップをプレゼントしました。

大崎市伊藤市長と写真撮影

平成30（2018）年度 NPO法人 古川学人 事業報告

事業名	参加者数	
○シティズンシップ普及事業　…投票の啓発、民主主義の知識と意義の普及		
・応援企画「選挙に行こう」選挙 +plus への参加協力（通年）		
・高等学校での主権者教育事業		→P12
・角田支援学校高等部（5月23日）	120名	
・泉館山高等学校2年生（10月19日）	290名	
・古川学園高等学校3年生（12月11日・18日）	148名	
・日本学術会議サイエンスカフェ in 吉野作造記念館（10月8日）	24名	→P13
○被災地支援事業　…東日本大震災の被災地域への支援・支援団体への協力		
・チェロ奏者土田英順氏によるチャリティーコンサート（5月12日）	70名	→P14
・南三陸 SAP への協力		
○キッズ教育支援事業　…県内の小学生・中学生、教員を対象とした教育支援		
・夏休み自由研究サポートし隊！（8月2日～5日）	1名	→P15
・北浦小学校6年生見学会（11月22日）	25名	→P15
・Synapse40と協力した教育支援事業		→P15
・「誰もやらない子ども駄菓子屋プロジェクト」入社式（7月1日）	53名	
・共生社会の実現に向けた市民フォーラム２０１８（12月9日）	74名	
・古川黎明中学校2年生見学会（3月13日）	105名	
○ヤングジャパン応援プロジェクト事業　…高校生・大学生の活動を紹介・支援		
・古川黎明高校文芸部見学会（6月2日）	8名	
・東北学院大学見学会（11月9日）	20名	
・尚絅学院大学研修会（2月2日）	7名	→P16
・古川学園高等学校新聞部取材（2月7日）	5名	
・東北福祉大学見学会（3月19日）	4名	
○健康増進事業（共催：NPO 法人ハッピィート大崎）		→P16
・休憩ラウンジを活用した食育・健康増進・教育等の事業（通年）		
・子ども食堂啓発イベント「はじめての子ども食堂」（5月4日）		
○元気発信「まちカル」事業　…人的ネットワークの構築を中心として地域を活性化		
・こども美術教室「つくるぞう」（8月12日）	25名	→P18
・写真展「昔の街を写真で再現しよう！」（主催：未来クエスト×スクエア）共催（9月15日～17日）	72名	
・カラフルワクワク展―渡辺ヒロミワールド（12月7日～16日）	897名	→P17
○東アジア交流事業　…日本と東アジアの架け橋としての役割を担う		
・映画「望郷の鐘」上映会（共催：ボランティアサークルこだま会）共催（8月5日）		
・写真展「櫻井一郎が見た満洲」（10月14日～12月2日）	498名	→P18
○研究会・学会等の受け入れ事業　…研究会や学会への会場提供・コラボレーション企画の実施		
○平和事業　…「非核平和創造クラブ」を中心とした世界平和に関わる企画への協力		
○環境デモクラシー事業　…自然や環境について学び、これからの生活について考える		
○社会貢献事業　…記念館周辺環境美化の活動など		
○寄附金募集、個人会員・企業会員の拡大事業		

ご寄附頂いた皆様のご紹介

（2018年4月1日～2019年3月31日）

公表のご了承を頂いた方のみご紹介させて頂きます。

個人様（受付順）

佐々木源一郎　様
千葉　基　様
鈴木光太郎　様
井関　純　様
加藤シゲ子　様
和泉　敬子　様
後藤　昇　様
岡田　永治　様
二郷　成子　様
平野　博　様

団体様

栗原市築館地区コミュニティ推進協議会　会長　佐藤輝也様
宮城学院女子大学様

氏名非公表ご希望　2名様

合計　176,600円

NPO法人古川学人では、吉野作造記念館の指定管理事業にとどまらず、「記念館を活用した地域の振興」「吉野作造の精神を受け継ぐ若者の育成」をテーマに、上記のNPO事業を行っています。

これらのNPO事業は、大崎市からの指定管理料とは別に、多くの皆様の善意とご理解に基づく寄附金によって行われています。ここにご寄附いただいた皆様に深く感謝の意を表しますとともに、以下のページに2018（平成30）年度のNPO事業をご紹介いたします。

NPO法人古川学人へのご寄附

館にて直接ご寄附頂くか、下記振込口座をご利用ください

ゆうちょ銀行（ゆうちょ銀行から）
特定非営利活動法人 古川学人（トクヒ フルカワガクジン）
記号 18170　番号 22846291　総合口座

ゆうちょ銀行（その他金融機関から）
特定非営利活動法人 古川学人（トクヒ フルカワガクジン）
店名：八一八（ハチイチハチ）
店番：818　預金種目：普通預金　口座番号：2284629

古川信用組合
特定非営利活動法人 古川学人　理事　佐藤俊明
（トクヒ フルカワガクジン リジ サトウトシアキ）
古川信用組合　本店　普通預金　口座番号 3406609

NPO法人古川学人
シティズンシップ普及事業

NPO法人古川学人では、吉野作造が選挙権の拡大と国民の有権者意識の向上に生涯取り組んだことに鑑み、高校生への主権者教育などのシティズンシップ普及事業を行っています。

分かりやすく「権利」の話に重点

生徒・保護者で代理投票の動きを練習

角田支援学校高等部
2018年5月23日
参加者数：120名

当館としては初めての支援学校を対象とした主権者教育となりました。生徒の選挙への意識向上はもちろん、投票が困難な有権者のための**代理投票**という制度に対し保護者の方に理解を高めてもらうことをねらいとして、生徒と保護者の合同研修会として授業を行いました。

氏家仁館長による講話、代理投票について解説した映像の上映、何組かの生徒と保護者で代理投票の練習などを行いました。

終了後のアンケートでは、約7割の生徒が「選挙に行ってみたい」と回答し、約8割の保護者が「子どもを選挙に連れて行こうと思う」と回答しました。

感想（生徒）

- 選挙について分からない所を話を聞いて沢山学べたので良かったです。
- 私も早く18さいになって家族といっしょにやってみたいです。
- せんきょにいきたいです。

（保護者）

- 政治の事は、親も子も、あまり関心が無いのが現状です。この様な機会を頂いて社会参加への意味を改めて考えることができました。（特にスライド説明がわかりやすかったです。）

※角田支援学校での主権者教育の詳細とその他の感想については『吉野作造研究』第15号「実践研究報告―特別支援学校における主権者教育」参照。

代理投票について

自力での投票が困難な人は、投票所で申告すれば、補助者2名による記載と投票の補助を受けることができます。

詳しくは、各市町村の選挙管理委員会にお問い合わせください。

泉館山高等学校2年生
2018年10月19日
参加者数：290名

平井　翔さん

戦前は選挙権をもつことができる人が富豪や男性に限られており、選挙に行きたくとも行けない人が多くいたということを考えると、年齢制限はありますが、全国民が持っている権利のありがたさを感じることができました。

グラフでの説明では若い世代の人々の投票率が低いということがはっきりとわかり、選挙への意識の低さを痛感しました。氏家さんの説明によると、「若い世代が選挙で投票しないから、若い世代への政策が出されない。」とおっしゃっていましたが、私は若い世代への政策が出ないからこそ、選挙に対する意識は下がってしまっているのではないかなと思いました。

菅原沙愛さん

投票率が低い若者世代達が、関心を持ち、積極的になれる時代になるようにするためにも一人ひとりが意識を変えなければならないと思いました。

来年から選挙権が与えられる私も、新聞を読むことから始め、国の政治に対する関心を持てるようになりたいです。

米　寛人さん

昔の人は、選挙権を求め政治に対し、真摯に向き合っていたと思う。現代の僕たちも自分の国の未来を考えていく必要があると改めて感じた。また、なぜみんなで考える必要があるのかという疑問に対して、答えがないからこそ話し合う必要があると言っていたのに納得した。誰が正しいかではなく何が正しいかを自分で考えて行動するべきだということも分かった。

選挙について考えてみよう

～日本学術会議サイエンスカフェ in 吉野作造記念館～

2018年7月29日

参加者数：24名（引率教諭含む）

福祉の充実、産業の振興、人口減少の問題―
この街に必要で、有権者の理解を得られる「政策」はなんだろう?

日本学術会議委員の小玉重夫・東京大学大学院教育学研究科教授、町村敬志・一橋大学大学院社会学研究科教授のご協力を得て、大崎地域の高校生を対象に「高校生の政治参加」をテーマとしたサイエンスカフェを開催しました。小玉先生は主権者教育の推進と啓発の第一線でご活躍されている方で、2017年度企画展の記念講演でも講師としてご来館くださいました。

当日は古川高校、古川黎明高校、古川工業高校、大崎中央高校の4校から計19名の高校生が参加しました。最初に小玉先生による「高校生の政治参加―期待されていること、投票の際の考え方」と題した講義が行われた後、講義をふまえたグループディスカッションを行いました。テーマは「未来の大崎市長選挙」。自分たちが選挙対策責任者だったらという仮定のもと、地域振興や課題解決のための具体的な政策を考え、発表するというものです。

学校・学年を越えた大崎の高校生たちによる白熱した議論が交わされました。

古川学園高等学校2年生

2018年12月11日・18日

参加者数：148名

柴田脩平さん

吉野作造記念館に行って、明治時代は選挙権を持っている人が少なく、国民全員の意見が反映されなかった時代であったことがわかった。その時代から現代に至るまで、何度も選挙制度の改革が行われ、今の18歳以上の国民全員が選挙に参加できるようになったと思った。その改革に吉野作造さんの思想が強く関係しており、彼の活躍がなければ今の選挙制度はなかったのではと考えました。私も18歳となり、選挙にも参加できるようになった今、今の日本のあり方や今後の日本のあり方についてもよく考え、吉野作造さんと同じ大崎市の出身者として積極的に選挙に参加し、日本の政治を良くしていくことに貢献したいと思いました。

千葉榛夏さん

今回選挙についての話を聞いて、初めはあまり自分も選挙に関心がなく、参加したことでどう意味があるのか正直分かりませんでしたが、今日若い人たちもしっかり参加することは、長い目で見れば将来の利益増加に繋がったり、待機児童も減るかもしれないことを知って、意外と意味があって投票するだけでも大事なんだなと思いました。関心がないからと選挙に参加しないことは理由にならないので、他人事だと思わないで一人一人責任をもって投票し、全体的な投票率の増加と政治への関心も必要なのではないかなと感じました。選挙の歴史は長く、多くの国民の意思を広く知ることだと思うので大切なことだと思いました。

NPO法人古川学人　被災地支援事業

チェロ奏者土田英順氏 チャリティーコンサート

2018年5月11日・12日

主催　NPO法人古川学人／大崎コミュニティカレッジ

来場者数：70名（5月12日）

チェロ奏者の土田英順氏は、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、札幌交響楽団首席チェロ奏者などを歴任され、現在もソロでご活躍中です。東日本大震災の犠牲となった女性から受け継いだチェロを携えて、通算400回を超える復興支援チャリティーコンサートを開催し、その他全国各地の災害支援にも取り組んでおられます。

NPO法人古川学人は土田氏の活動に賛同し、2016年から吉野作造記念館を会場に「あなたを、忘れない―こころをむすぶコンサート」を開催しています。

今年は5月12日の記念館でのコンサートに加え、前日11日、大崎市立古川中学校の全校生徒620名の皆さんに向けたコンサートを開催しました。生徒による吹奏楽演奏やピアノとの共演もあり、楽しいひと時となりました。生徒の皆さんは、チェロの音色はもちろん、時に笑いも交えつつ、被災地や子どもたちへの並々ならぬ思いを語る土田氏の言葉にも聞き入っていたようです。

古川中学校での演奏（5月11日）

土田英順氏と共演して

古川中3年　斎藤さくらさん

今回の復興支援コンサートでは、土田英順さんのチェロとピアノ伴奏をコラボするという一生忘れられないような経験をさせていただきました。あの東日本大震災で、一度はボロボロになってしまったチェロでも、心に響くとても素敵な音色が出たことに感動しました。そして私自身も被災した方々のことを忘れずに、少しでも誰かの助けになるような人になっていきたいです。本当にありがとうございました。

古川中2年　鈴木花菜さん

私は今回初めてプロのチェロ奏者の方と一緒に演奏をしました。もののけ姫の楽譜を渡された時から緊張していて、うまく弾けるか不安でした。土田英順さんとはどんな方だろうとプロフィールを見たとき、「東日本大震災の犠牲となった女性のチェロに出会い、持ち主の友人たちの思いによってボロボロになったチェロを譲り受け、見事に蘇らせた。」という文章が頭から離れなくなりました。私はこの文章を読んだときから、こんなにすばらしい方と一緒に演奏ができるなんてすごく光栄だなとわくわくしていました。

本番当日のリハーサルのとき、実際に近くでチェロを見ました。土田先生のチェロの扱い方がすごく丁寧で、とても大切に使っていらっしゃるのが伝わってきました。また、気さくに話しかけていただいて、少し緊張もほぐれました。実際にもののけ姫を合わせてみると、ピアノとチェロの音がかさなって、こんなにきれいなハーモニーになるんだと少し驚きました。合わせ終わった後、「よかったよ。」と言ってくださったのが、すごくうれしかったです。

本番ではとても楽しく弾けました。不安や緊張はあまりなく、土田先生のおかげで思い出に残る演奏ができました。

今回、このような機会をあたえていただきとても貴重な体験ができました。この経験をはげみに、ピアノや部活動などを頑張っていきたいです。

共演した生徒から花束の贈呈

吉野作造記念館での演奏（5月12日）

○土田英順氏ブログ

http://blog.hokkaido-np.co.jp/enjoy-cello/

- 被災地の子どもたちを支援するため土田氏が開設した「じいたん子ども基金」について
- コンサート他活動報告

NPO法人古川学人
キッズ教育支援事業

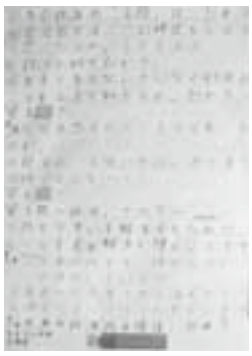
夏休み自由研究サポートし隊！

2018年8月2日～5日
参加者数：1名

記念館で自由研究をサポートする、夏の恒例企画です。

「日本の政治の『主役』はだれ？」
古川第三小学校5年　熊谷華花さん

まるで吉野作造のような、とても硬派な自由研究ですね。クイズを解きながら楽しく大切なことがわかります。



よくがんばりました!

NPO法人古川学人
キッズ教育支援事業

北浦小学校6年生見学会

2018年11月22日
参加者数：25名

見学の感想

●宮城県の人から「民本主義」という今の日本の政治の本になった考え方ができたことがすごいなと思った。

●吉野作造は多くの友人や先輩、先生に恵まれていると思った。

●吉野作造は国や町から表彰されたのか気になる。

●民本主義について家で予習したときはよく分からなかったけど詳しく知れてよかった。

疑問に思ったこと

●中学のころに雑誌を作っていたのに、大人になってなぜ雑誌を作る仕事ではなく政治学者になったのか。

A．一番の理由は、吉野さんは雑誌を作るより、学者として自分の調べたことや考えを雑誌に発表するほうがより好きだったからでしょう。

●なぜ漢字の書きとりをいっぱいしたのか。

A．厳しいお母さんの言い付けです。でも昔は今と違って原稿も手紙も何でも手書き。字をきれいに早く書けなければ仕事も何もできません。吉野さんは大人になってお母さんに感謝したそうです。

●大正デモクラシーの時代、どんな仕事をしている人が多かったのか。

A．一番多かったのは農家です。しかし明治から大正時代にかけては、工場で働く人達が大変多くなりました。

●吉野作造の考えに反対したり、批判した人はいなかったのだろうか。

A．実は批判した人はたくさんいました。でもそうした批判も自分の考えを深めるものと考えて、吉野さんはていねいに応じていました。そうしてだんだん、吉野さんに賛成する人が増えていったのです。

NPO法人古川学人　キッズ教育支援事業

Synapse40との協力事業

NPO法人Synapse40（千葉繁美代表理事、以下シナプス40）は、地域の子育て・教育支援のため幅広く活動しています。

誰もやらない子ども駄菓子屋プロジェクト
主催：NPO法人シナプス40
共催：NPO法人古川学人

このプロジェクトは、子どもたちが駄菓子屋の企画・出店・販売を行い、自分達で審査した団体に売上金を寄附するものです。地域社会を知り、寄附を通して自己肯定感を育み、社会貢献の意義を学ぶことを目指します。

品物も価格も自分たちで決めます

古川学人は同プロジェクトの共催者として、企画会議などの会場提供や人的サポートを行っています。

共生社会の実現に向けた市民フォーラム2017
12月9日

大崎市図書館でのフォーラム。NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク理事長の生重幸恵氏による講演と、「子ども駄菓子屋プロジェクト」の修了式が行われました。

今年度は寄附対象となる団体がなく、売上の寄附は次年度以降に持ち越されます。

NPO法人古川学人　ヤングジャパン応援事業

尚絅学院大学見学会

2019年2月2日
参加者数：7名

今年も尚絅学院大学の皆さんがご来館くださいました。講義では、吉野作造の思想の根底に、師である尚絅女学校初代校長ブゼルから伝えられた「他者への慈愛」と「社会奉仕の精神」があることを紹介しました。

遠藤花音さん

吉野作造記念館を見学して、授業の中では学ぶことができない新しい知識を得ることができ、とても有意義な時間だった。私は今まで自分から記念館に行くことはなかった。しかし、実際に行ってみると吉野作造についての展示品などから新しい知識などを学ぶことができ、授業も大事だが、実際に現地に行って学ぶことも大切だと考えた。これからも積極的に足を運びたい。

大友奈津季さん

私は、大学一年生のときに記念館を見学しました。その時は、全く分からない状態で資料や写真を見ていました。しかし今回、なぜこのように書いたか考えたり、記念館の方の詳しい解説でしっかり学んだりして、興味を持って見学することができました。特に印象に残ったのは、吉野作造についての説明です。吉野作造が周囲の反対するなか自分の考えを曲げないで突き進む姿や、徐々に周囲も吉野作造の考えに同意や応援するようになったことなど、一人の働きかけから人・時代は変化していくことが分かりました。

龍　茉緒さん

最初は歴史についてなので難しそうだなと思っていたのですが、皆さんが一つ一つ丁寧に優しく教えてくれてとても嬉しかったです。変な質問をしても何一つ嫌な顔をせず答えてくださり本当に感謝しています。吉野作造について興味を持つことが出来たので自分でも調べて学びたいです。

遠藤南奈さん

２回目の吉野作造記念館は、ある程度の知識が着いたので、より細かいところに気付き聞くことができました。学芸員の方は優しく、しょうもない質問にも面白おかしく教えてくださったので、楽しく学ぶことができました。

また、特別展は女性について行っていて、肋木を使った授業の写真が面白かったです。

佐野あかりさん

一昨年にも見学しましたが、以前とは違った視点での見学を楽しめました。特に人物関係や企画展の大正時代をつくった女性たちの展示からは、個性豊かな人物や意外と知らなかった文化をたくさん知ることができました。

NPO法人古川学人

健康増進事業

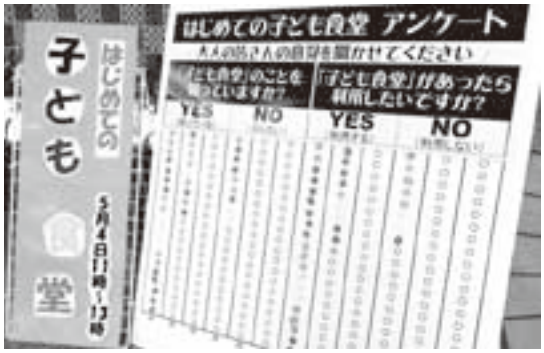
共催：NPO法人ハッピィート大崎

吉野作造記念館北側の休憩ラウンジは、市民の憩いの場として、記念館開館時間はどなたでも自由に利用することができるほか、古川学人との共催により、NPO法人ハッピィート大崎が食育や健康増進事業を行っています。

健康相談コーナーでは年間を通じて食生活の相談や健康啓発事業を実施し、当館市民交流イベントの際は、火を使わずに簡単にできる料理教室などを開催しています。

2018年5月4日には、GWイベントと合わせ、古川学人・ハッピィート大崎共催による子ども食堂の体験イベント「はじめての子ども食堂」を開催しました。

また、2019年3月2日フォーラム「これからのシアワセな生き方」の際は、ハッピィート大崎に託児コーナーへのご協力を頂きました。



子ども食堂のしくみと雰囲気を体験し、理解を広めるイベント（5月4日）

NPO法人古川学人
キッズ教育支援事業

古川黎明中学校 2年生見学会

2019年3月13日
参加者数：110名

今回の見学で知ったこと、知識が深まったこと

内海春音さん

私が記念館に行っておどろいた事は、「黎明会」という会があったことです。学芸員さんの説明によると、吉野作造の考えを広めるためにつくった会の一つでした。「黎明会」の意味は、「黎明」という漢字には「夜明け」という意味がこめられているので、吉野作造が考える民本主義で「日本に光をさそう」ということではないか、とのことでした。今回いろいろな発見ができたのでよかったです。

佐々木萌実さん

吉野作造が平等な心を持っていたことがよく分かりました。吉野作造は姉弟や子供に女性が多く、また生涯を通して女性との関わりが多かったので、男性がえらいという考えがうすかったんじゃないかと、展示を見て思いました。差別の意識がうすかったから生まれた「民本主義」の考え方なんだなと感じました。また、吉野作造の航路が書いてある地球儀を見たところ、なんと世界を一周していました。ここから吉野作造の熱意を感じました。今回の見学でより深く吉野作造の考え方について知ることができました。

小林陽向さん

今まで、資料館や歴史館に行くことがあっても、ある人物に特化した施設にはあまり行ったことがなかったので新鮮でした。

・民本主義や進んだ政治を学ぶため海外に出向いた。
・孫文や黄興、鈴木安蔵ともつながりがあった。
・海外留学中も家族に葉書を送るなど、家族を大切にしていた。
・民本主義に関する本や論文を多数発表。
・新人会のもととなった黎明会を福田徳三らと結成。

地域の偉人としか知識がありませんでしたが、様々な人との交流のおかげで今の国民主権に深くつながったのだと思いました。もしかしたら真面目で社交的な宮城の県民性も一役買っているのかもと思いました。

中山拓郎さん

昔の古一小の名前が尋常小学校、尋常中学校だったこと。吉野作造の学生時代がとても優秀だったということ。また、かなり最近まで生きていたということ。昭和まで生きていたとは思わなかった。

工場法について。工場法に限らず、決まってから使われるまであまりにも期間がかかりすぎだと思った。今回の見学だけの話ではないが、女性の参政や社会進出、また全国水平社やそれに似たような組織について見ると改めて皆差別やら何やらが好きなんだろうな、と思う。

NPO法人古川学人　元気発信「まちカル」事業

カラフルワクワク展―渡辺ヒロミワールド

2018年12月7日～16日
来場者数：897名

美里町のマルチアーティスト・渡辺ヒロミ先生の個展。色鮮やかな絵やコラージュ、柄や刺しゅうをデザインした服やバッグなど約100点が並び、「見て元気になりました」との声をたくさんいただきました。

最終日となる12月16日にはクリスマス会と合わせ、カラフルな世界と一体になった音楽コンサート・ユタニコLiveが行われました。

ユタニコ Live（12月16日）

NPO法人古川学人　東アジア交流事業

写真展　櫻井一郎が見た満洲

2018年10月14日～12月2日

主催　NPO法人古川学人　後援　毎日新聞社
協力　日本経済新聞社　テレビ愛知
特別協力　名古屋市美術館　監修　竹葉丈氏
来場者数　498名

大正後期～昭和前期にかけて、満洲（現在の中国東北部）ほか中国各地を撮影した宮城県多賀城出身の写真家・櫻井一郎（1893～1928）の貴重な写真を展示しました。

中国大陸の豊かな情景・風俗を写し撮り、多くの日本人に大陸のロマンを伝えた櫻井の写真は、現在その史料的価値が日中両国で高く評価されています。

今回は櫻井一郎作品の研究・展示を手掛けた名古屋市美術館の竹葉丈氏のご協力を頂き、櫻井の故郷・宮城県で初めての展覧会となりました。

NPO法人古川学人　元気発信「まちカル」事業

こども美術教室　つくるぞう（作造）

2018年8月12日
参加者数　25名

未就学児～小学生を対象としたこども美術教室「つくるぞう」。2018年は夏休み中の開催となりました。

今回は大崎市古川で「アトリエ森のしずく」を開く金属工芸作家の新田亜紀子先生を講師にお招きし、紙粘土とペットボトルを使ったランタン作りに挑戦。みなさん思い思いの個性あふれる作品をつくり、完成後はライトを灯してやさしい光を楽しみました。

ペットボトルが個性ゆたかなランタンに

2018年度の記念館行事・出前講座一覧

※ NPO 法人古川学人事業は P11参照

2018年（平成30年）

4/1 ～ 2019/2/6	ミニ企画展「絵と写真で見るモダン文化」	9,092名
4/1 ～	ミニ企画展「写真で見る明治・大正の古川」	現在継続
4/12·15·19·22 5/10·13·17·20	市民大学講座①②③④「吉野作造の文章を読んでみよう」全４回　講師：氏家　仁	63名
4/18	古川中学校開校記念講演会　講師：氏家　仁当館館長、会場：古川中学校	201名
5/3	市民大学講座⑤　憲法記念日講演会「立憲主義と吉野作造　講師：平地秀哉氏	66名
5/4	GWイベント	546名
5/27 ～ 8/5	前期企画展「働く人の権利を求めて」	1,469名
6/23	市民大学講座⑥「岩出山時代の伊達政宗」 講師：佐藤憲一氏	46名
6/30	市民大学講座⑦　前期企画展記念講演会 「現代の労働問題と日本社会　ブラック企業問題とは何か」　講師：今野晴貴氏	34名
7/3 ～ 5	職場体験　古川中学校2年生	3名
7/13	吉野作造入門講座in大崎市図書館 「明治維新150年と吉野作造～西郷どんの時代背景がわかる！」講師：小嶋　翔	14名
7/25 ～ 11/30	高校紹介コーナー	3,426名
7/31	第６回吉野作造研究賞締切	該当作なし
9/7	市民大学講座⑧人材育成研修会講演会「清末知識人と明治日本 - 兆民・蘇峰から梁啓超へ」 講師：朱　琳氏	50名
9/9	市民大学講座⑨人材育成研修会　成果報告会	41名
9/11 ～ 15	博物館実習	3名
9/20	出前講座　ともに市政をつくる仙台市民の会　シンポジウム「地方政治と議会制民主主義吉野作造の民本主義論がめざすもの」　講師：氏家　仁	80名
10/20	吉野作造を学ぶ会特別講演会　講師：永澤汪恭氏	30名
10/21	古川秋祭り　参加	―
11/1	職場体験　古川第三小学校6年生	4名
11/9	職場体験　古川黎明中学校2年生	2名
11/24	出前講座　明星研究会シンポジウム　講師：小嶋　翔	90名
12/6·9 1/10·13 2/7·10	市民大学講座　⑪⑫⑬吉野作造の文章を読んでみよう　全3回　講師：氏家仁	45名
12/16	クリスマス会	567名

2019年（平成31年）

1/6 ～ 3/24	企画展「時代をつくった女性たち～大正女性の豊かな生き方～」	2,038名
1/16・20	市民大学講座⑭　吉野作造入門講座　講師：小嶋　翔　16日大崎市図書館　20日吉野作造記念館	11名
1/27	第2回　吉野作造検定	12名
1/27	市民大学講座⑮　生誕記念イベント講演会 講師：氏家　仁	76名
1/27 ～ 2/6	吉野作造かるた原画展	119名
2/7 ～	ミニ企画展「かるたで学ぼう吉野作造」	現在継続
2/23・3/9	市民大学講座⑯⑱　吉野作造講座 講師：後藤彰信氏　全2回	42名
2/24	出前講座　栗原市築館地区コミュニティ推進協議会講演会　講師：氏家　仁	180名
2/26	出前講座　大崎いきいき学園　講師：小嶋　翔	29名
3/2	市民大学講座⑰　後期企画展記念フォーラム「これからのシアワセな生き方」共催：エブリー♪おおさき　講師：国広陽子氏	59名
3/7	檻の中のライオン in 吉野作造記念館 講師：椋　大樹氏	98名

寄贈資料一覧

（平成30年4月～平成31年3月）

多くの皆様のご厚意により貴重な資料をご寄贈いただいております。厚く御礼申し上げます。

［順不同　敬称略］

新井勝紘『五日市憲法』……新井　勝紘氏
関幸夫『吉野作造の民本主義』……高橋　芳琴氏
齊藤實『賛育会の百年』……社会福祉法人賛育会
『デフォレスト館建造物調査報告書　補遺』……学校法人東北学院
『東北学院の歴史』……学校法人東北学院
中公新書編集部編『日本史の論点
―邪馬台国から象徴天皇制まで』……中央公論新社
『中央評論』70巻2号……大川　真氏
【抜刷】書評「柴田真希都著『明治知識人としての内村鑑三
―その批判的精神と普遍主義の展開』」……大川　真氏
『宮城の歴史地理教育』第24・25号……宮城県歴史教育者協議会
『宮城の歴史地理教育』第26号……宮城県歴史教育者協議会
藤代裕『米国人宣教師ミス・ブゼル　みちのく遠野での15年』……風呂　功氏
今野元『吉野作造と上杉慎吉
―日独戦争から大正デモクラシーへ―』……今野　元氏
『二階堂学園六十年誌』……日本女子体育大学
『人見絹枝　生誕１００年記念誌』……日本女子体育大学
『日本女子体育大学50年のあゆみ』……日本女子体育大学
『二階堂学園90年―学園は今―』……日本女子体育大学
武藤秀太郎『「抗日」中国の起源―五四運動と日本』……武藤秀太郎氏
深井智朗『プロテスタンティズム』……中央公論新社
石井一彦『ぼくたちの野田争議』……友愛労働歴史館
太田哲男『吉野作造』（人と思想１９６）……太田　哲男氏
「小学教育掛図（憲法発布式）」……新澤　巌夫氏
岡義武『明治政治史』上・下（岩波文庫）……伏見　岳人氏
『Ｖｏｔｅｒｓ』Vol. 43～48……公益財団法人明るい選挙推進協会

平成30(2018)年度 入館者状況・物販販売・会場使用料

入館者数

	有料入館者							無料入館者	総入館者合計
	一般		高校生		小・中学生		合計		
	個人	団体	個人	団体	個人	団体			
4月	73	29	1	0	3	0	106	934	1,040
5月	91	22	1	0	2	0	116	1,299	1,415
6月	97	40	0	0	0	2	139	578	717
7月	100	5	0	0	0	0	105	494	599
8月	91	53	1	4	3	0	152	636	788
9月	79	49	0	0	0	2	130	880	1,010
10月	100	80	0	0	0	0	180	1,015	1,195
11月	135	62	1	3	0	0	201	742	943
12月	85	5	0	0	2	0	92	1,340	1,432
1月	51	11	0	0	0	0	62	622	684
2月	87	34	0	3	1	0	125	867	992
3月	123	68	1	0	0	0	192	931	1,123
合計	1,112	458	5	10	11	4	1,600	10,338	11,938

会場使用料

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
使用料金(円)	40,620	22,320	54,060	30,240	26,000	29,120	47,440	49,500	37,080	27,840	46,080	26,940	437,240

物品販売

(刊行物販販売)

書籍名	売上(円)
川原次吉郎編『古川余影』	2,400
吉野作造記念館編『大正デモクラシーの旗手 吉野作造』	31,104
赤松克麿編『故吉野博士を語る』	7,000
千葉真弓『蒼色の眼差し』	1,500
『吉野作造研究』(研究紀要)創刊号～第14号	36,500
『吉野作造記念館所蔵資料目録(2012年度版)	16,000
『東アジア文化交流叢書』創刊号	6,000
合計	100,504

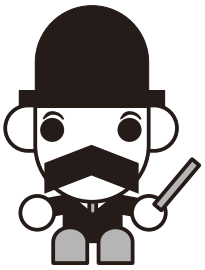
(グッズ販売)

グッズ	売上(円)
テレフォンカード	0
ポストカード	2,400
一筆箋	4,800
クリアファイル	29,900
オリジナルコーヒー	139,940
合計	177,040

2018年度刊行物

○『吉野作造研究』第15号(研究紀要)
- 論文、講演録、史料紹介
- 2019年4月発行
- 400部
- 頒価1,389円(税別)

○『吉野作造記念館だより』第27号(本誌)
- 2018年度吉野作造記念館・NPO法人古川学人事業報告
- 2019年4月発行
- 1,500部
- 無料

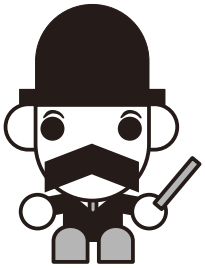


メディア等での記念館紹介／156件

（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

おもなメディアでの紹介

2018. 4.13	TBC 東北放送「ロジャー大葉のラジオな気分」
2018. 5. 3	朝日新聞（地域）「先人つないだ自由と憲法」
2018. 7.30	河北新報（地域）「市長選『公約』真剣に　高校生参加しイベント」
2018.10.12	毎日新聞「櫻井一郎満州写真展」
2018. 9. 8	河北新報（地域）「吉野作造記念館　おおさき社会貢献大賞」創設
2019. 1.28	河北新報（地域）「大崎社会貢献大賞　若見さん最優秀賞」
2019. 2. 7	毎日新聞（地域）「企画展　大正女性の活動紹介」
2019. 2.10	大崎タイムス（こどもタイムス）「吉野作造かるた【あ】」



苦難乗り越え民主主義の本質築く
～吉野作造に学ぶ～
『古川学園新聞』2019年3月1日

東北放送「ラジオな気分」取材
2018年4月13日

日本女子体育大学・石崎朔子学長ご来館
2019年3月17日

平成30(2018)年度吉野作造記念館事業へボランティア協力をいただいた皆さま

宮城誠真短期大学様、吉野先生を記念する会様、NPO 法人 Synapse40様、
NPO 法人ハッピィート大崎様、大崎市ボランティア協会様、みどり工業㈱様、
古川高校合唱部様、サークル「カリヨン」様、宇津木浩恵様、会田征子様、髙橋憲夫様

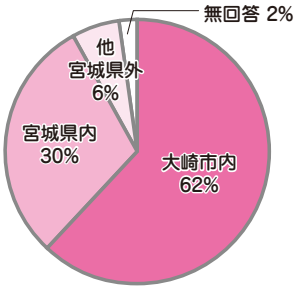
心より御礼申し上げます

平成30(2018)年度　吉野作造記念館　アンケート集計結果のご紹介

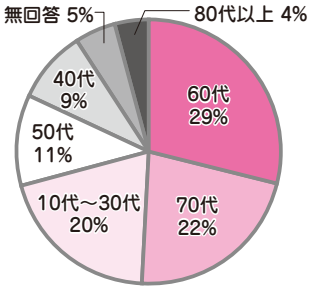
平成30年度に実施したアンケート内容の一部をご紹介いたします。
当館では今後も常時ご意見・ご感想等を受け付けておりますので、お気軽に声をお寄せください。

●集計数 **431名**（内訳：企画展、講座、GWイベント、クリスマス会、各種講演会）※平成31年3月31日時点

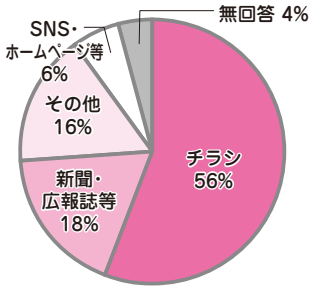
お住まいはどちらですか？



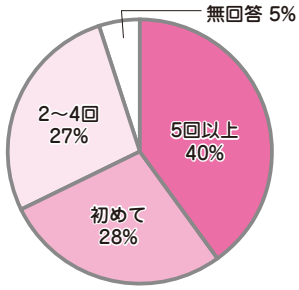
年代を教えて下さい。



当館の情報を何で知りましたか？



来館回数を教えて下さい。



※一部複数回答含む

お客様からのご意見・ご要望および改善・対策　※抜粋

見学やイベントに参加してみてのご感想

- 合唱と寸劇でのクイズが面白かった。子ども食堂も野菜たっぷりのお弁当をみんなで食べて美味しかった。……(GWイベント→P10)
- 地元出身の講師、それも若手研究者ということで最高でした！平地先生のお話はとても分かりやすく聞きやすく有意義な憲法記念日になりました。……(憲法記念日講演会→P5)
- 土田英順さんの素晴らしい演奏、トークがとても心に響きました。震災を忘れず、復興に対する思いを忘れず、継続していくことの大切さを感じています。……(チェロチャリティーコンサート→P14)
- 読みやすい文献を選んでくれているので、分かりやすく聴くことができました。婦人公論や政治論など、今の時代と比較しながら楽しく学びました。……(市民大学講座→P5)
- 時代が変わっても人が求めるものは、女性の社会進出、労働条件、良い暮らしなど今と同じ。先人たちが行ったことで良いことためになることを、自分の生活に取り入れながら暮らしていきたい。……(企画展「働く人の権利を求めて」→P2)
- 地図を添えた写真で、当時の様子がみてとれます。写真技術も素晴らしく、白黒でも写真の美しさが良く分かりました。……(写真展「櫻井一郎が見た満洲」→P18)
- マジックショーが楽しかった。オーナメントはどの年齢でも楽しんで作ることができ良かった。……(クリスマス会→P10)
- 吉野作造かるたはとても分かりやすく良かったです。多くの機会で活用されることを期待しています。……(生誕記念イベント→P1)

お客様のご要望に対する改善について

- メガネを持ってこなくてよく見えなかった。説明の字をもう少し大きくして欲しい。……(写真展「櫻井一郎が見た満洲」→P18)
  ☞字の説明が写真を邪魔しないようにと思いましたが、ご不便をおかけしました。見やすくすることについては今後意識してまいります。
- 工作スペースが、毎年不足に感じる。……(クリスマス会→P10)
  ☞予約制にしたり、時間を決めての入れ替え制にすることも今後検討したいと思います。

2019年度の 行事案内

2019.4～2020.3

※変更となる場合もございますのでご了承ください。

最新の催事情報は QR コードから チェックできます

4月～3月　基礎講座★
「吉野作造の文章を読んでみよう」

5月3日　憲法記念日講演会★
晴山一穂氏（専修大学教授名誉教授）
「日本国憲法と公務員の役割
－「全体の奉仕者」としての公務員のあり方を考える」

5月5日　GWイベント

6月29・30日
あなたを、忘れない－こころをむすぶコンサート
土田英順氏（チェロ奏者）

7月6日　郷土史講座★
濱田直嗣氏（サンファン館館長）
「慶長遣欧使節とキリシタン」

7月14日～9月22日
前期企画展「吉野作造と布施辰治（仮）」

8月30日～9月1日★
第13回吉野ネットワーク交流事業
人材育成研修会
（8/30基調講演、9/1成果報告会）。

9月5日　郷土史講座★
畠山靜子氏（切込焼記念館学芸員）
「切込焼の歴史と魅力（仮）」

10月1日　芸術・文化講座★
渡辺祥子氏（フリーアナウンサー・朗読家）
「朗読ワークショップ」

11月中　読売・吉野作造賞受賞記念講演会★

12月中旬　クリスマス会

1月　入門講座★
講師：小嶋翔（当館研究員）

1月上旬　後期企画展
「吉野作造と旧制高等学校（仮）」

1月26日　生誕記念イベント
1月29日の吉野作造誕生日に先立ち記念イベントを開催。吉野作造検定試験などを予定。

1月29日　入館無料ＤＡＹ
吉野作造生誕142年・開館25年の記念日
入館無料でご覧いただけます♪

2月～3月　文学・思想史講座★
小嶋翔（当館研究員）
「吉野源三郎『君たちはどう生きるか』を読んでみよう」

2月～3月　上級講座（全2回）★
講師：後藤彰信氏（元宮城県高等学校社会科教諭）

※日程・内容等は変更となる場合がございますので予めご了承ください。
※消費増税（2019年10月以降）の関係で入館料が変更となる場合があります。
※★がついた行事は市民大学の対象講座です。

○ご案内　小・中学校巡回パネル展

学校の教室や掲示板などの空きスペースを活用して吉野作造の展示をしてみませんか？
対象：大崎市内の小・中学校　　料金：無料
申込：吉野作造記念館まで（電話0229-23-7100）

※詳細はP7をご覧ください。

吉野作造記念館回数券 YOSHIKA 発売中

YOSHIKA（ヨシカ）は吉野作造記念館の前売入館券です。ご家族、ご友人、会社の方への贈答用など、幅広くご利用ください。

- 6枚綴り1,500円（税込）※1枚あたり250円
- 常設展・企画展どちらもご観覧いただけます。
- 他の割引との併用はできません。
- 当館受付での窓口販売のみとなります。
- 購入当日のご利用はできません。
- 有効期限：2022年3月31日

社会のためにがんばる大崎の若者を表彰

吉野作造記念館での表彰式（2019年1月27日）
前列右から2番目が最優秀賞の若見明珠さん

第１回 吉野作造記念
おおさき社会貢献大賞

NPO 法人古川学人は、大崎市の先人である吉野作造のデモクラシー及び社会貢献の精神を次世代に伝え、より良い社会を目指す若者の活動を顕彰して広く紹介することを目指し、2018年度より「吉野作造記念おおさき社会貢献大賞」を開始しました。対象は、大崎市内の小・中学校生、高校生の個人・団体による若者の政治参加に関する活動や社会福祉に関する活動、地域文化・地域社会に貢献する活動、国際貢献活動です。

■最優秀賞　「ノラ猫の殺処分ゼロを目指しての活動。さくら猫（地域猫）の普及活動」／若見明珠（古川学園中学校）

■優 秀 賞　「老人福祉施設での交流会」／大崎市立大貫小学校4年生
「まちなか文化祭の実施」／まちなか文化祭実行委員会
「高校生デモクラシー塾」／岩佐遥介（宮城県古川黎明高等学校）
「FULLKAWA ROCK FESTIVAL」／ FULLKAWA ROCK FESTIVAL 実行委員会

■奨 励 賞　「おおさき中学校生徒会サミットを中心とした取組」／大崎市中学校生徒会
「自然の中の生き物について考えよう」／大崎市立古川第四小学校4年生
「読み聞かせボランティア」／宮城県鹿島台商業高等学校図書委員会
「白梅幼稚園訪問演奏会」／学校法人古川学園古川学園中学校音楽クラブ
「FULLKAWA　だべらいん食堂」／ FULLKAWA ROCK FESTIVAL 実行委員会

○最優秀賞講評（抜粋）

自宅前の段ボール箱に入れ捨てられていた5匹の仔猫を何とかするために、ノラ猫の現状把握や地域の皆さんへ相談しながら、ノラ猫と人間がどのように共生すべきなのかを考え行動した取組み。特に、状況把握をするために区長や市議会議員、親睦会の方に確認をしたり、問題意識をもって考えてもらうために地区全体にチラシを配布したこと、お年寄りの方向けに独自でポスターを作りあげる等、普及活動についても尽力し地域全体を巻き込みながら課題解決をしようと取り組んだことは、社会に大きなインパクトを与えるとともにアイデア性も優れている。極めて評価に値する取組みである。

現状の課題として、お金をかけずに不妊手術をする仕組みづくりの確立や、さくら猫の継続的な普及活動や資金面等が挙げられているが、今後の継続性と発展的な取組みを通じて猫と人間が共生できるより良い社会を創るために地域全体として、どう動いていくのかということにも期待し、注目をしていきたい。

吉野作造記念館
〒989-6105 宮城県大崎市古川福沼1－2－3
TEL 0229－23－7100
E-mail yoshino-npo.fg@blue.ocn.ne.jp
URL https://www.yoshinosakuzou.info/

利用案内

開館時間	9時～ 17時（入館は16時30分まで）			
入館料	区分	常設展		企画展（常設展含む）	
		個人	団体(20名以上)	個人	団体(20名以上)
	一般	３１０円	２５０円	５００円	４００円
	高校生	２１０円	１６０円	３００円	２００円
	小・中学生	１００円	８０円	２００円	１００円
休館日	月曜日（月曜日が祝祭日の場合は翌日が休館日）年末年始（12月29日～１月３日）				

10月1日より一部料金が変更となります。

平成30年度 YOSHINO サポーター

株式会社 佐藤酸素
有限会社 千田清掃 chida
小さい事からコツコツと何でもします 見積無料！ 我妻建設(株) TEL28-2639
ふるしん 古川信用組合
つながろう、ひとつに、ひろげよう、笑顔を。 100 ANNIVERSARY 賛育会
MURATA CORPORATION 株式会社村田工務所
株式会社北都開発
地域と共に　住いと共に　153年 株式会社 チバミン 電話 0229－22－0291
㈱氏家建築設計事務所
やればできる 内藤印刷有限会社
看板 デザイン設計施工 株式会社 美研
有限会社 アクセス
大崎市観光物産センター
古川ガス株式会社
株式会社共同システムサービス
あ・ら・伊達な道の駅
書道教室 遊山社
有限会社 三塚タイヤ
若見自動車
ツクイ古川デイサービス